

呉市立天応中学校区 中間報告

- 1 研究の概要
- 2 カリキュラムデザイン・開発単元
- 3 ルーブリックの活用・振り返りの充実
- 4 研究を下支えする取組
- 5 児童生徒の変容・成果
- 6 本年度の課題・次年度の方向性

研究の概要

学校教育目標

「かかわる つながる よく生きる」

目指す児童生徒像

「『鍛える 想う 求める』子供」

研究主題

自他の知をつなげ、粘り強く学ぶ児童生徒の育成

～ 対話 探究 貢献 を軸とした授業づくりを通して～

育成を目指す資質・能力

| | 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 |
|----|--|--|--|
| | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 自主性, 主体性 |
| 後期 | 構造化され生きて働く概念的な知識や, 自在に活用できる技能が身に付いている。 | (実社会・実生活の中から) 問いを見いだし, 効率的・効果的に分析して, 根拠を明らかにしながら, 論理的に表現することができる。 | 探究的な学習の過程において, 実社会・実生活の課題を自分のこととして考え, 協働的に解決に向かい, 社会に貢献しようとしている。 |
| 中期 | 新しく学習した言葉や技能を正しく理解し活用することが身に付いている。 | (実社会・実生活の中から) 問いを見いだし, 効率的・効果的に分析して, 根拠を明らかにしながら, 順序立てて表現することができる。 | 探究的な学習の過程において, 実社会・実生活の問題を解決するために, (自分の意思で) 目標をもち, 友達と協力しながら解決に向かい, 社会とつながろうとしている。 |
| 前期 | 新しく学習した言葉や技能を正しく理解している。 | 身のまわりから問題を見つけ, 集めた情報から考え, 理由を明らかにしながら, 相手に伝えることができる。 | 自分の生活を見直し, 自分の特徴やよさを知るとともに, ちがう意見や友達の考えを大切にしながら, 身のまわりのことと関わろうとしている。 |

| 課題 | 方策 | |
|--------------------------|--|---|
| ① 探究課題が児童生徒自身のものとなっていない。 | ・探究課題に対し 開いた問いづくり を行い，発達段階に応じて分類する。 | A |
| | ・生徒に探究課題に係る 基礎データを整理 させ， データから「問い」 を導き出す。 | B |
| ② 目的が不明確。情報収集が形式化。 | ・ 実現したい姿を明確 にし，その実現に必要な資源を検討しながら プロジェクトを立ち上げる 。「問い」を追究するために，必要かつ適切な情報収集を選択・実行。 | C |
| ③ 学んでほしいことを児童生徒に順に与えている。 | ・ 体験で終わる取組の廃止 。 | D |
| | ・「問い」の事前検討時に， 生徒の発想を想定した対応案 を準備する。 | E |
| ④ 「まとめ・表現」の取組の停滞 | ・ 積極的に失敗 させる。 | F |
| | ・ 目的に応じた他者 （専門家，行政，地域住民等）と協働する場を仕組む。 | G |
| ⑤ 探究のサイクルが繰り返されない。 | ・ 提案型のゴール 設定。 | H |
| | ・ 「問い」の階層 の整理。 | I |

昨年度の課題

① 各学年で扱う問い・単元づくりが単発的

- ・学年間の系統性が未整理

② 総合的な学習の時間と各教科等との関連付け

- ・各教科・領域等との関連付けが未整理
- ・年間指導計画の未整理

③ ルーブリックの活用

- ・ルーブリックを活用した「単元末」の具体的な姿の想定不足
- ・児童生徒との目指す姿の共有不足

本年度の方向性

① 各学年で扱う問い・単元の再構築

- ・学年間の系統性の整理
- ・「方策」の整理

② カリキュラム・マネジメントの充実

- ・データ活用や各教科等による防災学習との関連付け
- ・年間指導計画への位置付け

③ 指導と評価の一体化

- ・評価方法の工夫
- ・ルーブリックによる見取りの充実

昨年度の課題

① 各学年で扱う問い・単元づくりが単発的

- ・学年間の系統性が未整理

② 総合的な学習の時間と各教科等との関連付け

- ・各教科・領域等との関連付けが未整理
- ・年間指導計画の未整理

③ ルーブリックの活用

- ・ルーブリックを活用した「単元末」の具体的な姿の想定不足
- ・児童生徒との目指す姿の共有不足

本年度の方向性

① 各学年で扱う問い・単元の再構築

- ・学年間の系統性の整理
- ・「方策」の整理

② カリキュラム・マネジメントの充実

- ・データ活用や各教科等による防災学習との関連付け
- ・年間指導計画への位置付け

③ 指導と評価の一体化

- ・評価方法の工夫
- ・ルーブリックによる見取りの充実

カリキュラムデザイン・開発単元

カリキュラムデザイン

| 令和4年度 呉市立天応中学校区カリキュラムマップ | | | | | | |
|---------------------------|---|---|--|--|----------------------|--|
| 【学校教育目標】「かかわる つながる よく生きる」 | | | | | | |
| 【目指す児童生徒像】「鍛える 想う 求める」子供 | | | | | | |
| 知識及び技能 知識・技能 | | 思考力、判断力、表現力等 思考力・判断力・表現力 | | 学びに向かう力、人間性等 自主性、主体性 | | |
| 段階・学年 | 教科等 | データの活用等 | 生活科・総合的な学習の時間 防災・絆プロジェクト 夢・絆プロジェクト | | 学校行事 特別活動 | |
| 後期【貢献する】 | 9 学年 | 道徳（銀メダルから梅たももの） 英語（読解作文） 理科（身近な自然環境の調査） 音楽・保健体育（歌・創作ダンス） 社会（公衆 地方自治） | 国語（複数の情報を関連付けて考えをまとめる） 数学（基本調査） | みんなで守る 未来を守るⅡ ～災害に強いまちづくり（天応から築きよう！）～ | 自分の未来を創ろう | 生徒会活動 文化祭 学芸（食育） |
| | 8 学年 | 社会（地理 日本の姿） 社会（地理 地域調査の手帳） 音楽・保健体育（歌・創作ダンス） 理科（災害調査がもたらすリスクの調査） 英語（Universal Design） 道徳（おばあちゃんのかた「おじいちゃん」） | 国語（複数の情報を関連付けて考えをまとめる） 数学（自分軸観測と結びかけ取） | みんなで守る 未来を守るⅠ ～過去から未来へ！災害の記憶をつなごう！～ | 働く人の思いをつなごう | キャリア・スタート・ウィーク 修学旅行 文化祭 学芸（食育） 文化祭 学芸（食育） |
| | 7 学年 | 国語（防災に関するデータ） 音楽・保健体育（歌・創作ダンス） 理科（大地の震動） 社会（身近な地域の歴史） 道徳（震災を乗り越えて） | 国語（情報を関係づける） 数学（データの活用） | みんなを守る 天応を守るⅢ ～絆をつよく！あの人を守ろう！～ | 自分史を創ろう | 文化祭 学芸（食育） |
| 中期【つながる】 | 6 学年 | 国語（傷みの手紙） 道徳（命の重さはみな同じ） 国語（町の寺社めぐり） 社会（働く人たちの仕事とくらし） 家庭科（共に生きる地域での生活） | 国語（新聞記事の読み取り） 算数（資料の調べ方） | みんなを守る 天応を守るⅡ ～つながろう 天応～ | ありがとうを伝えよう | 平和公園見学 修学旅行 ありがとうの命の授業 |
| | 5 学年 | 国語（新聞記事を読み比べよう） 理科（空から見て） 家庭科（食べて元気に） 道徳（嬉しいこと、それが好きの作品） 社会（自然災害を防ぐ） | 国語（新聞記事を読み取り） 算数（割合） | みんなを守る 天応を守るⅠ ～自然の驚異に備えよう～ | さあ、6年生にチャレンジ！ | 野外活動 6年生ありがとう集會 |
| 前期【かかわる】 | 4 学年 | 国語（買ちゆくわたしたちの体） 道徳（「もっこ」をせびって） | 国語（事件と経緯をくしよ） 算数（折れ線グラフ） 算数（調べと整理のしかた） | 自分の命は自分で守るⅡ ～災害時にも生活（健康）を守ろう～ | 大きくなあれ！ こころ・からだ | 食育セミナー 働きがいを指導 二分の一人入式 |
| | 3 学年 | 道徳（やさしい人たくさん） 社会（わたしのまちなみみんなのまち） 国語（林園のことを紹介しよう） | 国語（調べ方） 算数（数とグラフ） | 自分の命は自分で守るⅠ ～もしも災害が起きたら～ | コスモス園の方と交流しよう | 自転車教室 |
| | 2 学年 | 道徳（ながいながいというがくる） 国語（「ありがとう」をつたえよう） （「こぼれずみん」を作ろう） | 国語（めいさつたことばをく） 算数（ひょう・グラフ） | 天のう発見マップを作ろう | あしたへジャンプ | 学校探検 町探検 |
| 1 学年 | 道徳（みんなだからに） 国語（おもいだしてかこう） （一年かんをふりかえろう） | 国語（おもいだしてかこう） 算数（かずしらべ） 算数（0のたし算とひき算） | がっこう だいすき | じぶんでできるよ もうすぐ2ねんせい | 交通安全教室 学校探検・普選びの会 | |

学年間の
系統性の整理

各教科等との
関連の整理

データ活用

開発単元 (天応中1年)

防災学習 まちづくり

呉版単元構想シート（総合的な学習の時間）

呉市立天応中学校 第1学年

本質的な問い **天応で育った自分は、どう生きるのか。**

単元名 「みんなを守る 天応を守るⅢ」～絆をつよく！あの人を守ろう！～

児童生徒の実態

- ・防災・減災について、これまで継続して学んできている。
- ・地域のために貢献しようという意欲がある。
- ・データを考察しながら考えを導き出すことに課題がある。
- ・自分の意見を根拠をもとに伝えることに課題がある。

目指す具体的な姿（育成を目指す資質・能力）

地域の防災力を向上させる取組を考え、それを提案したり他者と一緒に活動したりすることを通して、災害の記憶を風化させず、他者と協働して防災に取り組む大切さを理解するとともに、自分や地域の人々の命を災害から守る方法について考え、災害に強いまちづくりのために行動している。

単元を貫く問い **地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。**

【探究課題】 防災に関する地域の課題を解決し、地域の防災力を向上させる取組をしよう。

【第2次】（16時間）

課題 **防災に関する地域の課題を解決し、地域の防災力を向上させる取組をしよう。**

個別の問い

- ・防災について、天応の課題は何だろうか。
- ・防災についての天応の課題を解決するためには、どうすればよいだろうか。
- ・防災力とは、具体的にどんなことができる力だろうか。
- ・収集した情報の内、自分たちが考える取組に活用できる情報は何か。
- ・相手（児童や地域の大人）が防災について分かりやすく知れたり考えたりできる方法とはどんな方法だろうか。

地域・保護者

天応支所

復興総室、危機管理課

天応小の児童
保護者

呉高専

（しかけ）

地域や保護者等を対象としたアンケート調査について、事前に仮説を立てさせ、結果との違いを分析・考察することを通して、想定と現実の差を理解しながら、自分の考えを裏付けする根拠を持って取組を考えられるようにする。

また、自分の考える取組について外部人材からアドバイスをもらう場面を設定することを通して、より良い取組となる方法を見つけ、自信と意欲をもって学習できるようにする。

【第1次】（20時間）

課題 **小学6年生の「つながろう天応」を受け継ぎ、天応に住む人々とのつながりを作ろう。**

個別の問い

- ・小学6年生では、どんなことを学習してきたか。
- ・つながりを作る上で対象とする相手は誰か。
- ・地域の人とのつながりを作るのはなぜか。
- ・地域の幼稚園児を対象とした絵本を作る際、どんな内容をどんな言葉で表していけばよいだろうか。
- ・地域の高齢者とつながりを作ろうとする場合、どんな方法があるだろうか。
- ・公営住宅の方との交流イベントでは、地域ボランティア団体とどんな連携をしておけばよいだろうか。

天応めぐみ園

地域ボランティア団体
「つながろう@天応」

天応に住む高齢者の
方々

天応中学校 生徒総会

（しかけ）

対象とする相手との電話連携やミーティングを行いながらつながりを作る方法を考えることを通して、相手意識をもって方法を考えるとともに、見通しをもって計画的に考えることができるようにする。

方策 I 【問いの階層整理】

本質的な問い 天応で育った自分は、どう生きるのか。

単元名 「みんなを守る 天応を守るⅢ」～絆をつよく！あの人を守ろう！～

児童生徒の実態

- ・防災・減災について、これまで継続して学んできている。
- ・地域のために貢献しようという意欲がある。
- ・データを考察しながら考えを導き出すことに課題がある。
- ・自分の意見を根拠をもとに伝えることに課題がある。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

地域の防災力を向上させる取組を考え、それを提案したり他者と一緒に活動したりすることを通して、災害の記憶を風化させず、他者と協働して防災に取り組む大切さを理解するとともに、自分や地域の人々の命を災害から守る方法について考え、災害に強いまちづくりのために行動している。

単元を貫く問い 地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいただろう。

【探究課題】 防災に関する地域の課題を解決し、地域の防災力を向上させる取組をしよう。

第1次

課題：「つながろう天応」を受け継ぎ天応に住む人々との
つながりを作ろう。

【しかけ】対象とする相手との電話連携やミーティングを行いながら
らつながりを作る方法を探究させる。

対話

探究

第2次

課題：地域の防災力を向上させる取組をしよう。

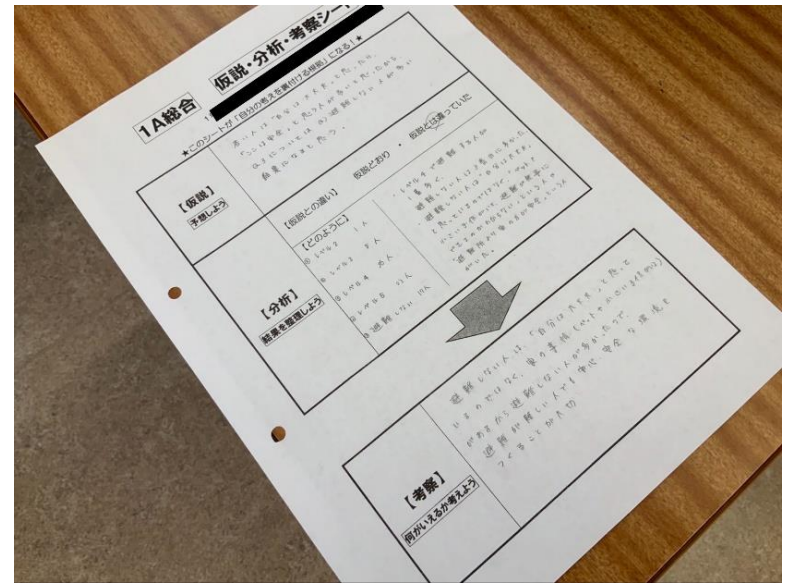
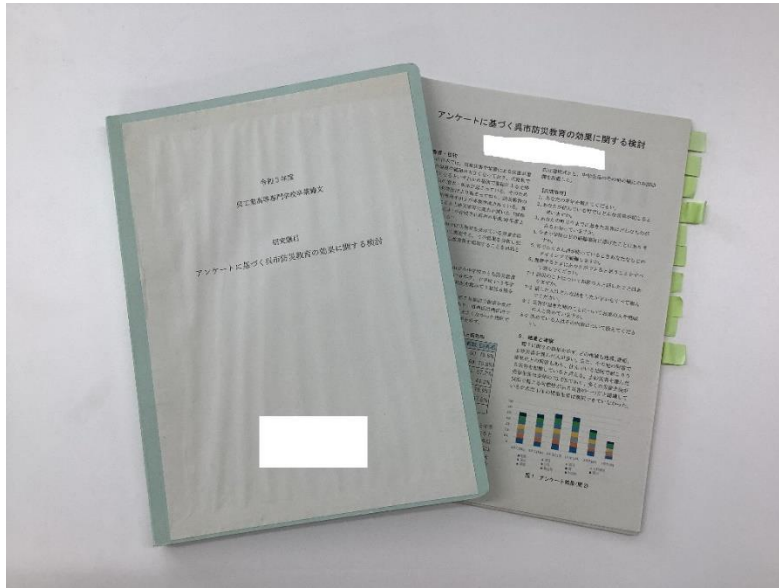
【しかけ】地域や保護者等を対象としたアンケート調査の分析や外
部人材からのアドバイス等を活用しながら、
より良い取組を考えさせる。

対話

貢献

方策 B 【データ整理】

アンケート結果から問いや次の活動を見出させる



方策 C 【プロジェクトの立ち上げ】 【必要な情報収集】



方策 G 【他者との協働】

方策 F 【失敗の経験】

地域ボランティア団体と連携

他学年との意見交換



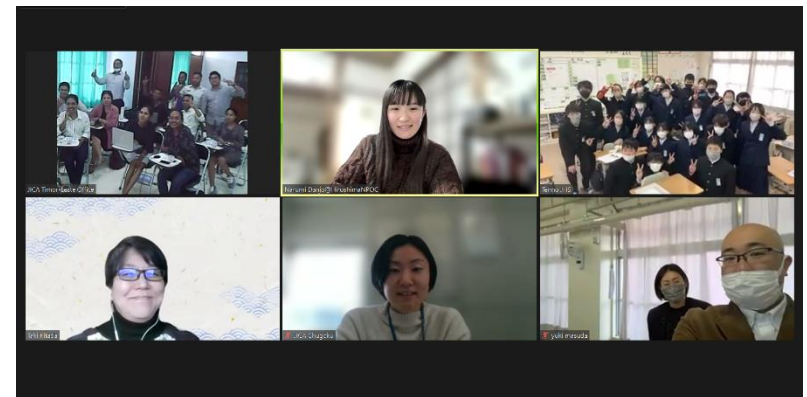
自分たちが考えた取組案を伝えるが、「〇〇な場合はどうするの」等と指摘され、内容を再検討しなければならなくなった。改善点を粘り強く考え、再度提案したりしながら、取組を決めていった。

方策 H 【提案型のゴール】

幼稚園生への読み聞かせ



東ティモールとの交流



開発単元 (天応小4年)

防災学習 避難生活

【資料2】
呉市立天応小学校 第4学年

【総合的な学習の時間】
呉版単元構想シート

本質的な問い 助けられる人から助ける人になるために、何ができるのだろう。

単元名 じぶんの命は自分で守る II ～災害時にも生活（健康）を守ろう～

児童生徒の実態

- ・3年生の時には、安全マップを作成したが、災害に関する知識等について、正しく理解している児童は限られている。
- ・多くの児童は主体的に取り組むが、調べたり、読み取ったり、まとめたりすることは十分ではない。
- ・自ら課題を発見し、追究していくことに課題がある。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・既知と新しい知識を関連付けたり、組み合わせたりして、防災に対する新しい知識を身につけることができる。（知識・技能）
- ・複数の事柄や資料などについて、自分で視点を設けて比較、分類、関連付けてまとめて表現することができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・課題解決に向け、対象に対して進んで自ら働きかけることができる。（自主性・主体性）

単元を貫く問い 災害時に困らないようにするために、自分の命をどのように守るのか。～自分にできること～

【探究課題 防災のための安全な町づくりとその取組。】

【第3次】
課題 どうしたら自分たちが考えたことや学習したことを多くの人に知ってもらえるのだろう。

個別の問い

- ・他のクラスや地域の方などに防災対策の現状と対策を伝えるにはどうしたらよいのだろう。
- ・誰にでも分かりやすい内容にするためには、どのようにまとめるとよいのだろうか。

（しかけ）

- ・災害時にみんなが役立つ情報をまとめた広報紙等を作成することを通して、助けられる人から助ける人になる意味や価値について気付かせる。

つなごう@天応の方
まちづくりセンターの方
保護者
地域の方

【第2次】
課題 災害時にも、健康であるためにはどうすればよいのだろうか。

個別の問い

- ・どれくらいの人たちが被災への備えをしているのだろう。
- ・災害に備えるにはどんな準備が必要なのだろう。
- ・備蓄倉庫の中に何が、どんな理由で備えてあるのだろう。
- ・体育館に泊まってみよう。

（しかけ）

- ・危機管理課の方の話を聞き、備蓄倉庫に備えているものや理由を知る。
- ・体育館に泊まり、災害時に必要な物に気付かせる。

被災して避難所生活をした時に自分の命を自分で守るにはどうしたらよいのだろうか。
保護者・各家庭
危機管理課の方

【第1次】
課題 「健康」～もしもを想起して災害時に困ること～

被験された方の声（インターネット）

個別の問い

- ・災害時に困ることはなんだろう。
- ・実際に被害に遭われた方の声を聞いてみよう。
- ・実際に経験した人はどんなことに困ったのだろう。

（しかけ）

- ・経験された方の話を聞き、災害時と日常生活の違いに気付く。

見直しポイント

探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・解決の道筋がすぐには明らかでない課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
 - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・活動をこなすだけになっていないか。
 - ・児童生徒から問いを生み出すきっかけがあるか。
 - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・第1次だけで構成していないか。
 - ・第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。

方策 I 【問いの階層整理】

本質的な問い

助けられる人から助ける人になるために、何ができるのだろう。

単元名

じぶんの命は自分で守る II ～災害時にも生活（健康）を守ろう～

児童生徒の実態

- ・3年生の時には、安全マップを作成したが、災害に関する知識等について、正しく理解している児童は限られている。
- ・多くの児童は主体的に取り組むが、調べたり、読み取ったり、まとめたりすることは十分ではない。
- ・自ら課題を発見し、追究していくことに課題がある。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・既知と新しい知識を関連付けたり、組み合わせたりして、防災に対する新しい知識を身につけることができる。（知識・技能）
- ・複数の事柄や資料などについて、自分で視点を設けて比較、分類、関連付けてまとめて表現することができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・課題解決に向け、対象に対して進んで自ら働きかけることができる。（自主性・主体性）

単元を貫く問い

災害時に困らないようにするために、自分の命をどのように守るのか。～自分にできること～

【探究課題

防災のための安全な町づくりとその取組。

】

第1次

課題：「健康」～もしもを想起して災害時に困ること～
【しかけ】経験された方の話を聞き，災害時と日常生活の違いに気付かせる。

対話

第2次

課題：災害時にも健康でいる方法を探究しよう。
【しかけ】危機管理課の方の話や実際に避難所に泊まり，災害時に必要な物に気付かせる。

探究

第3次

課題：自分たちの考えを多くの人に知ってもらおう。
【しかけ】広報誌等を作成し，助ける人になる意味や価値に気付かせる。

貢献

方策 C 【プロジェクトの立ち上げ】

方策 A 【開いた問い】

新体育館での宿泊体験



方策 D 【体験で終わらない】

体験活動は
課題解決のための「情報収集」



開発単元 (天応小6年)

防災学習 思いの 継承

本質的な問い 地域とどのようにつながり、どのように生きるのか。

単元名 みんなを守る 天応を守るⅡ ～つながろう 天応～

児童生徒の実態

- ・ これまでも防災の学習をしてきている。1学期の学習で、地域の方の防災や町づくりへの思いに触れることができた。
- ・ 自分の考えを伝えることに消極的な児童や、折り合いを付けて考えを整理することが苦手な児童がいる。
- ・ 自ら課題を発見し、追究していくことに課題がある。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・ 地域とのつながりや人との関わりと感謝の気持ちを伝える意義を理解することができる。（知識・技能）
- ・ 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・ 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとする。（自主性・主体性）

単元を貫く問い 「今だからこそ」の活動として、天応小最後の卒業生として、何ができるのだろうか。

【探究課題 防災のための安全な町づくりとその取組】

【第3次】
課題 「つながろう天応」まちづくりに参画しよう！

個別の問い

- ・ 義務教育学校になって変わること変わらないことは何だろう。
- ・ 小学校がなくなる前に記録しておく「今だからこそ」の表現の工夫には何かがあるかな。
- ・ 義務教育学校の開校を地域の方がより楽しみにできる表現の工夫は何だろう。
- ・ 高齢の方まで分かりやすい内容になっているだろうか。

イベントの手伝い

（しかけ）
・ 最後の卒業生として、今の天応小の様子や義務教育学校の開校に向けた様子をまとめた広報紙等を作成することを通して、地域とのつながりや伝統を受け継ぐ意味や価値に気付かせる。

【第2次】
課題 体育館に込められた思いを地域の人に発信するにはどうすればよいか？

個別の問い

- ・ 建設中の体育館には、どんな思いが込められているのだろう。
- ・ 防災拠点としての体育館を、地域の人に伝えるには、どんな方法があるのだろう。その方法は実行可能かどうか確かめよう。
- ・ 事実と意見を整理して表現するために工夫しよう。
- ・ 発信した内容がどうであったか、ふり返ろう。

もうすぐ体育館は完成する。「地域の方にその魅力」を発信するのに力を貸してほしいという依頼を校長先生から受ける。

ポスター？リーフ？動画？HP？

建設に関わる人（教育委員会）

まちづくりセンター長さん

建設前から関わっている校長先生・地域の方

友井自治会長さん

（しかけ）
・ 1次の地域の方の町づくりに対する思いとつなげる。
・ 建設中の体育館の建設に関わっておられる方の話を聞くことで、地域の防災拠点としての機能があることに気付く。

【第1次】
課題 「防災」～今まで、そしてこれから～

個別の問い

- ・ これまでの学習を6年生としてどう発信していけばいいかな。
- ・ 友井自治会長さんは、防災や天応の町づくりにどのような思いをもたれているのだろう。
- ・ 当たり前前に生活している天応の町にはどのようなよさ（ひと・もの・こと）があるのだろう。

地域の方

（しかけ）
地域の方の話を聞き、防災の学習の根幹には、町づくりに対する人々の思いが込められていることに気付く。

見直しポイント
探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・ 解決の道筋がすぐには明らかな課題や、一つの正解が存在しない課題となっているか。
 - ・ 児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・ 活動をこなすだけになっていないか。
 - ・ 児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
 - ・ 学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・ 第1次だけで構成していないか。
 - ・ 第1次のまとめと第2次の課題設定がつながっているか。

方策 I 【問いの階層整理】

本質的な問い 地域とどのようにつながり、どのように生きるのか。

単元名 みんなを守る 天応を守るⅡ ～つながろう 天応～

児童生徒の実態

- ・これまでも防災の学習をしてきている。1学期の学習で、地域の方の防災や町づくりへの思いに触れることができた。
- ・自分の考えを伝えることに消極的な児童や、折り合いを付けて考えを整理することが苦手な児童がいる。
- ・自ら課題を発見し、追究していくことに課題がある。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・地域とのつながりや人との関わりと感謝の気持ちを伝える意義を理解することができる。（知識・技能）
- ・相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・課題解決に向け、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとする。（自主性・主体性）

単元を貫く問い 「今だからこそ」の活動として、天応小最後の卒業生として、何ができるのだろうか。

【探究課題 防災のための安全な町づくりとその取組】

第1次

課題：地域の防災の「これから」について探究しよう。
【しかけ】地域の方の話を聞き，防災学習の根幹には，まちづくりに対する人々の思いが込められていることに気付かせる。

探究

第2次

課題：新体育館に込められた思いを地域の人に発信しよう。
【しかけ】建設に携わった方の話を聞き，地域の防災拠点としての役割に気付かせる。

対話

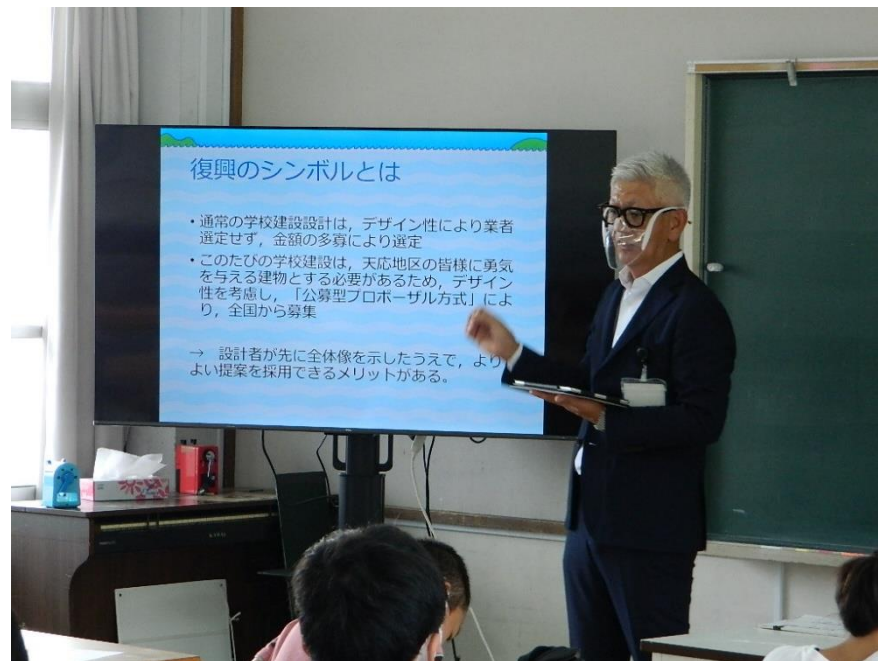
第3次

課題：災害に強いまちづくりに参画しよう。
【しかけ】広報誌を作成し，地域とのつながりや伝統を受け継ぐ意味や価値に気付かせる。

貢献

方策 G 【他者との協働】

建設に携わった人とのつながり



方策 H 【提案型のゴール】

地域に発信



込められた思いを伝える



作成動画 check!
【子供向け】 【大人向け】



昨年度の課題

① 各学年で扱う問い・単元づくりが単発的

- ・学年間の系統性が未整理

② 総合的な学習の時間と各教科等との関連付け

- ・各教科・領域等との関連付けが未整理
- ・年間指導計画の未整理

③ ルーブリックの活用

- ・ルーブリックを活用した「単元末」の具体的な姿の想定不足
- ・児童生徒との目指す姿の共有不足

本年度の方向性

① 各学年で扱う問い・単元の再構築

- ・学年間の系統性の整理
- ・「方策」の整理

② カリキュラム・マネジメントの充実

- ・データ活用や各教科等による防災学習との関連付け
- ・年間指導計画への位置付け

③ 指導と評価の一体化

- ・評価方法の工夫
- ・ルーブリックによる見取りの充実

ループリックの活用・振り返りの充実

ルーブリックの活用

生徒への提示と自己評価

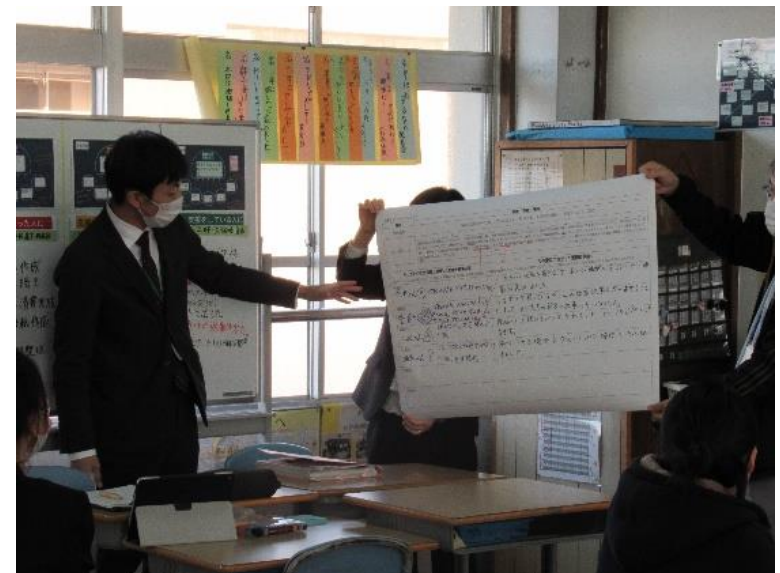
ルーブリックに基づく 指導案の事前検討と研究協議

小単元① 【思考・判断・表現】 評価規準

調べたことや分かったことを相手や目的に応じて整理し、自分なりの考えを表現している。

小単元① 【思考・判断・表現】 ルーブリック

| A | B | C | 【自己評価】 |
|--|---|---|--------------------------------|
| 過去に天応で起こった災害の記憶を今につなげるため、相手意識や目的意識を持って自分の考えをまとめ、 <u>当時の記憶だけでなく、今後の日常生活や学習に向けた提案なども合わせて、相手にわかりやすく伝えることができた。</u> | 過去に天応で起こった災害の記憶を今につなげるため、 <u>相手意識や目的意識を持って自分の考えをまとめ、当時の記憶を相手にわかりやすく伝えることができた。</u> | 過去に天応で起こった災害の記憶を今につなげるため、 <u>相手意識や目的意識を持って自分の考えをまとめることが不十分だった。また、当時の記憶を相手にわかりやすく伝えることができなかった。</u> | A ・ B ・ C 【その自己評価にした理由】 |

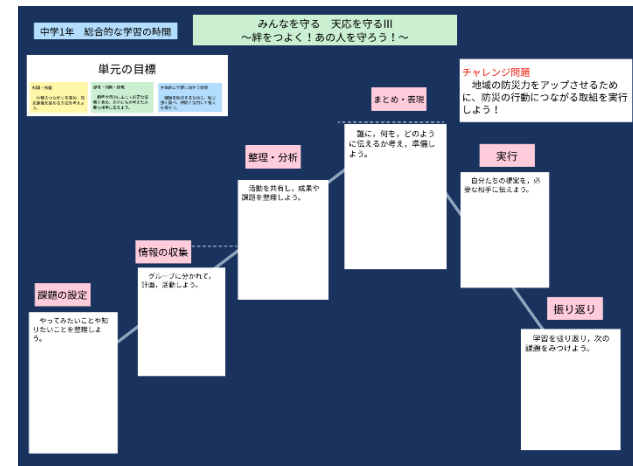
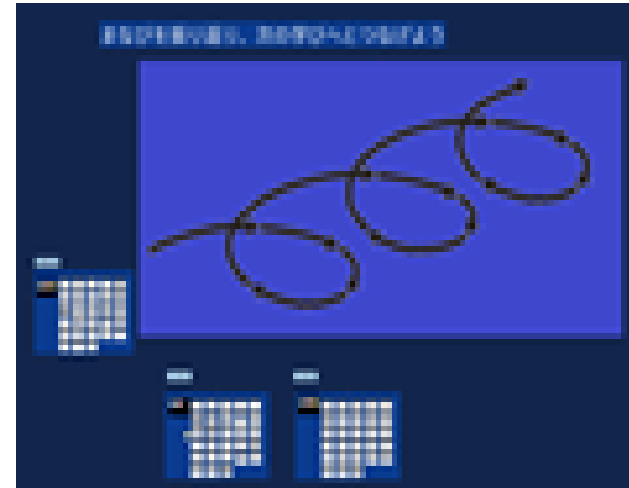


振り返りの充実①

ICT機器の活用

私たちははじめ、各地域の高齢者さんたちを対象にしていたけど1人では避難しにくい人たちのことも考えると、足の不自由な人などの近所に住む人たちを対象にしようと考えた。その人たちで足の不自由な人と一緒に避難してもらいたいと思った。近所に住む人たちが足の不自由な人を誘導して避難してもらうために話し合う機会が必要だと考えた。

タブレット上で作成した振り返りを専用のシートに保存



振り返りの充実②

1枚ポートフォリオ

単元を貫く問い
「地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。」

① 課題設定

② 情報収集

③ 整理・分析

④ まとめ・表現

⑤ 次なる課題

【単元のはじめ】

【単元のおわり】

単元を貫く問い

「地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。」

【単元のはじめ】

(地域ごとで)
呼びかけをしたり、地域全体で避難訓練を行うなどの取り組みをすればよいと思う。

【単元のおわり】

呼びかけや、ポスターなども「防災力」を向上させるよい案だと思うけど、一方的な方法だけでなく、実際はどうか、地域の方々の声や意見を聞き、そこから考えたことを実際にやってみるとよいのではないかなと思います。

単元を貫く問い

「地域の防災力を向上させるためにはどうすればよいだろう。」

【単元のはじめ】

もしその時のために日頃から食料の準備をしておく。

【単元のおわり】

総合の時に考えた、「地域の方との交流を増やすこと」が私は一番大事だと思った。もしその時に頼れるし、頼られることもあるかもしれないので、そこである程度相手のことを理解しておくことが、いいかなと思います。

研究を下支えする取組

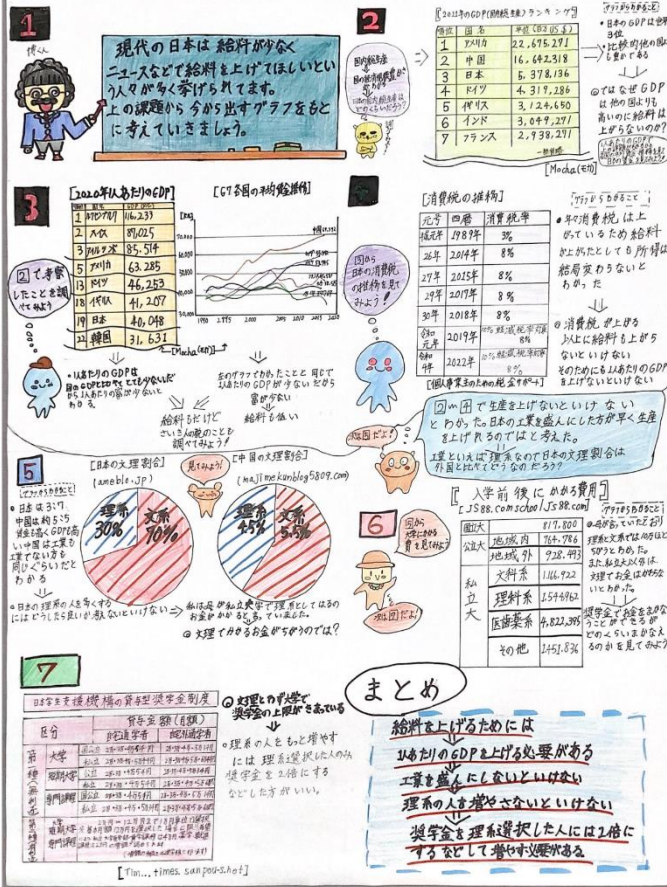
外部人材との協働学習

呉工業高等専門学校 教授・学生の皆さん

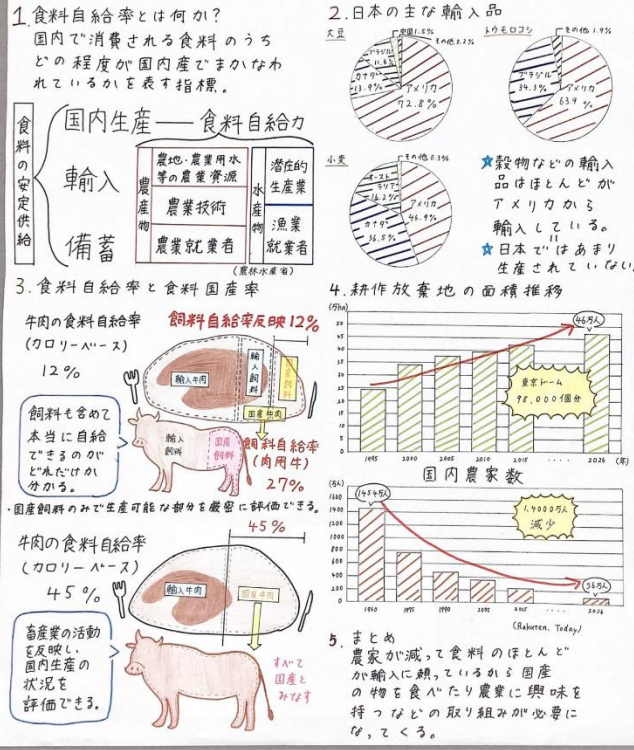


統計グラフコンクール

なぜ日本の給料は上がらないのか？



日本の食料自給率が低いのはなぜ!?



児童生徒の変容・成果

児童生徒の変容・成果

中学校

前

具体的なデータを挙げて分析を行っているが、目的意識や相手意識が薄く次の学習につながりにくい内容となっている。

単元の初めに活用した情報収集シートより

避難場所にした人数の割合は47.2%と低い
天竺の学校でどの学年も10~20%の児童生徒が
避難したことがある人がいる。
A小学校もD中学校も1番多いのが「おうちの人」
児童生徒が避難する状況になったときには付近の家にも
危険が迫っている可能性が高い。
平日頃から話題にするには難しく、学校や地域でイベントが
あった際などに話題にする可能性が高い。

具体的なデータを記録し、分析をこころみているが...

中学校

後

具体的なデータを挙げ、情報の整理・分析を行い、自分の考えを導き出している。

ワークシート「仮説・分析・考察シート」より

【仮説】
予想しよう

天応に住んでいる高齢者の方は、インターネットの扱いが難しく、Wi-Fiが家にはない人も多いと思う。だから、インターネット検索に困る人が多いと思う。どここのサイトを見ればいいかわからないなどもあると思う。
(おじいちゃんおばあちゃんアンケート 3回目)

【仮説との違い】 仮説どおり ・ 仮説とは違っていた

【どのように】

インターネット検索に困っている人は、ほんの一部だということが分かった。情報を集める時にインターネットを使う人が少ない。

逆に困っている事の多くは、両の音で、地域の放送、テレビの音が聞こえにくい。

相手意識をもった
データ分析

【考察】
何が出来るか考えよう

一家に一台、「広報ラジオ」などを置き、自分に合わせた音量に調節できるようにする。

集める時にインターネットを使う人が少ない
でも使っている人が分からない(多?)

課題解決のための視点が
より具体化

根拠(分析結果)をもとに、自分の考えをまとめている。

小学校

前

学習対象や自分自身に対する理解が深まったことなどの具体的な記述が見られない。

1学期の防災集会を運営した後の振り返りより

今日は防災集会の進行を6年生が中心となって行いました。会長さんの話を聞いて、天応地区は昔から災害があったんだと分かりました。学んだことをこれからの学習につなげていきたいです。

学習対象や自分自身に対する理解が深まったことなどの具体的な記述なし

小学校

後

相手意識・目的意識をもち、計画を立て、粘り強く情報収集やまとめ・表現に取り組んでいる。

来校されたお客様に体育館棟を案内した後の振り返りより

今日気をつけたことは沢山あります。まずタブレットばかりを見ないことです。しっかりお客様の様子を確認しながら話すことができました。また、分かりやすいように指し示したり、豆知識や工夫などについても詳しく説明することができました。その場にあった対応もしっかりこなすことができました。その結果、●●さんにもこの新体育館、フロア、特別教室の魅力や機能をしっかり知っていただき、褒めていただけることができました。褒めていただけたときは「ありがとうございます」しか言うことができなかつたけどとても嬉しかったです。今回は大成功だったと思います。

学習対象への理解の深まり

他者への効果的な表現

対象：小5～中3

令和4年度 学習アンケート(肯定的な回答%)

| 項目 | (1) 課題意識 | (6) 整理・分析 | (8) 表現 |
|-----|-------------|--------------|-----------|
| 4月 | 93.7% | 90.7% | 91.5% |
| 1月 | 98.5% | 92.3% | 87.0% |
| 前後差 | + 4.8% | + 1.6% | - 4.5% |

(1)授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と**思います**。

(6)授業では、情報を、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何が分かるのかを考えています。

(8)授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。

本年度の課題・次年度の方向性

本年度の方向性

結果

① 各学年で扱う問い・単元の再構築

- ・学年間の系統性の整理
- ・「方策」の整理

② カリキュラム・マネジメントの充実

- ・データ活用や各教科等による防災学習との関連付け
- ・年間指導計画への位置付け

③ 指導と評価の一体化

- ・評価方法の工夫
- ・ルーブリックによる見取りの充実

- ①総合的な学習の時間の全体計画および年間指導計画の修正(各学年の系統性の整理)
- ②①の内容をカリキュラムマップへの反映
- ③カリキュラムマップにおける「データの活用」の位置付け
- ④総合的な学習の時間と他教科等との関連の再整理
- ⑤教科等との関連を意識した授業づくりを実施

- ①ICT機器を活用した振り返り方法の充実
- ②1枚ポートフォリオの活用
- ③ルーブリックに基づく授業づくりと研究協議

本年度の課題

① 児童生徒の「表現」に関する肯定的な回答の割合

- ・「分かりやすい発表」に関する指導不足
- ・理由や根拠をもって発表させる指導が未だ不十分

② 各学年における探究的な学習の進め方

- ・児童生徒の「問い」を生かして考えさせる指導が未だ不十分
- ・ファシリテート力の不足

③ ルーブリックの活用

- ・児童生徒との目指す姿の共有が未だ不十分
- ・ルーブリックを提示したことによる児童生徒の学習意欲の鈍化

次年度の方角性

① 学びを社会に還元する取組の充実

- ・多様な表現方法および相手(受け手)からのフィードバックの充実

② 探究的な学習における持続可能な体制づくり

- ・単元の方角性および展開に関する研修の充実
- ・TT体制の再構築

③ ルーブリックに基づく児童生徒の見取りの充実

- ・ルーブリックの提示の仕方の工夫